

のぼりべつ

広報

人が輝き まちがときめく ふれあい交流都市 のぼりべつ

2月5日(土)、青葉スケートリンクで『スノーキャンドルの集い』が開かれ、青葉小学校区の児童や父母ら約90人が参加しました。

子どもたちは、雪をバケツに詰めて固めたものや雪だるまなど、思い思いの形のスノーキャンドルづくりに挑戦。

日が沈むとともに出来上がったスノーキャンドルには灯がともされ、キャンドルの炎と子どもたちの笑顔が辺りを温かく照らしていました。



特集

北のあったかいまち

2000 No.593 1日号

3

北のあったかいまち

平成11年度・市内で行われた主な事業

市は、私たちのまち『のほりべつ』が市民のみなさんに愛され、共に暮らす喜びを見いだせるまちにするため、さまざまなまちづくりを進めています。

今号では、平成11年度に市内で行われた主な事業の経過をお知らせします。

①市制施行30周年・西暦2000年市民実行委員会事業の補助



平成10年10月、市制施行30周年を迎える西暦2000年の事業案を検討する市民委員会が設立され、市民からのアイデア募集、市内各団体へのアンケート調査などが行われました。

平成11年度は、市民実行委員会へと発展して具体的な事業案や実施の枠組みづくりが進められ、市制施行30周年・西暦2000年記念として行われたオープニングセレモニーや市民大学、「体感のほりべつ」冬イベントなど、各種事業・活動を支援するため、補助金を交付しました。(平成11年度の補助金は、300万円)

問い合わせ 企画広報室 (☎1122)

②鷺別支所若草分室の移転



平成9年4月、若草つどいセンター内に開設した『鷺別支所若草分室』を室蘭信用金庫若草支店内に移転し、これまで行ってきた住民票・印鑑登録証明書の交付などの業務に加え、税金などの収納業務にも対応できるようにしました。業務開始は、昨年4月5日。(移転に要した経費は、約131万円)

問い合わせ 鷺別支所 (☎6111)

平成11年度の主な事業

総務費

- ①市制施行30周年・西暦2000年市民実行委員会事業の補助
- ②鷺別支所若草分室の移転

民生費

- ③在宅老人デイサービスの委託
- ④放課後児童クラブの開設
- ⑤のぞみ園増築事業
- ⑥子育て支援センター建設事業

衛生費

- ⑦新ごみ処理施設建設事業

労働費

- ⑧登別市シルバー人材センター補助金

農林水産業費

- ⑨(仮称)札内高原館整備事業

商工費

- ⑩観光振興特別対策事業補助金

土木費

- ⑪中央町地区街区整備事業(商店街近代化関連)
- ⑫らいば公園の新設
- ⑬道道弁景幌別線北駅前通改良受託事業(中央町地区・片倉町地区)
- ⑭温泉バイパス(道道倶多楽湖公園線)整備事業
- ⑮ロードヒーティング整備事業
- ⑯円山通り改良事業
- ⑰市営桜木団地の建て替え

消防費

- ⑱高規格救急自動車の購入

教育費

- ⑲鷺別公民館エレベーター設置事業
- ⑳人と自然のふれあい拠点整備事業

公共下水道事業特別会計

- ㉑公共下水道事業

⑤のぞみ園増築事業



昨年度までは、鉄南ふれあいセンター内（梶別町）の「のぞみ園」に「こどもセンター」を併設し、知的障害や情緒の面の障害が疑われる就学

前児童などの療育指導を試行してきました。

平成11年度は、「療育センター」として心身に障害のある児童などを対象とする療育指導を開始し、1月末に訓練室などの増築が完成しました。（事業費は、約4,086万円）

問い合わせ 児童家庭課（☎5634）

③在宅老人デイサービスの委託



昨年度までは、登別市社会福祉協議会に在宅老人デイサービスを委託し、「しんた21」を拠点として行ってきました。

平成11年度は、これに加え市内2

カ所目の拠点として、特別養護老人ホーム「緑風園」に在宅老人デイサービスを委託し、昨年5月6日から業務を開始しました。



問い合わせ 保健福祉課（しんた21内☎0100）

⑥子育て支援センター建設事業



近年、少子化・核家族化などのため、地域での子育てが難しく、子育ての知識が浅い若い親を支える環境づくりを進める必要があります。

平成11年度は、これまで行ってきた保育所や放課後児童ク

ラブでの子育て支援に加え、「子育て支援センター」（富士保育所敷地内）の建設に着手しました。同センターでは、子育て相談や育児サークルの支援、子育て講座などを行う予定で、3月いっぱい完成する予定です。（事業費は、約2,002万円）

問い合わせ 児童家庭課（☎5634）

④放課後児童クラブの開設



昼間、共働きなどのため保護者のいない家庭などの小学校低学年児童対策として、これまでの児童館での対応に加え、「放課後児童クラブ」を富岸青少年会館に開設しました。この児童クラブは富岸小学校区を対象としたもので、30人程度の児童を有料で受け入れ、働く女性の子育て支援の充実に努めました。



問い合わせ 児童家庭課（☎5634）

▼最終処分場



▼クリンクルセンター



設備の老朽化などが著しい清掃工場（焼却処理施設）と埋め立てが完了する千歳最終処分場に代わる新たなごみ処理施設（中間処理施設・最終処分場）の建設に平成9年から取り組んでいます。

現在、クリンクルセンター（中間処理施設）と最終処分場は4月1日の稼働に向け、試運転調整を行っており、完成は3月15日を予定しています。（全体の事業費は、3カ年で約90億円）

施設についての問い合わせ

環境資源課(☎85 3 0 0 9)

新しいごみの分別に関する問い合わせ

環境資源課(☎85 2958、☎85 2005、☎85 0575)

⑨(仮称)札内高原館整備事業



旧札内小中学校校舎（札内町）を、地元の農畜産物の加工研究・開発を行う加工施設、そして、市民が交流できるコミュニティ施設とするため、改修整備しています。

施設には、ソーセージやチーズなどの手づくり体験ができる加工体験室のほか、体育館、資料室などを設置します。完成は3月いっぱいを目途に予定しています。（事業費は、約1億5,000万円）



問い合わせ 地域振興室 (☎85 2 7 5 3)

⑧登別市シルバー人材センター補助金



高齢者が長年培った知識や経験、技術を生かした地域社会づくりを進める「登別市シルバー人材センター」（労働福祉センター内）へ補助金を交付し、事業の一層の発展・充実に努めています。（平成11年度の補助金は、1,100万円）



問い合わせ 商工労政課 (☎85 2 1 7 1)

▲高齢者の豊かな知識と経験・多才な技能を提供する「登別市シルバー人材センター」

⑪中央町地区街区整備事業 (商店街近代化関連)



中央町地区の道道の拡幅整備に併せ、安全で快適に通行できるよう歩道の整備や道路の拡幅などを行います。

平成11年度は、用地買収と移転補償を行い、道路改築は12月末ごろまでに完成する予定です。(事業費は、約9,100万円)

問い合わせ 商工労政課(☎2171)

⑬道道弁景幌別線北駅前通改良受託事業

(中央町地区・片倉町地区)

北海道が主体となって実施しているこの事業は、中央町地区と片倉町地区で行われています。

中央町地区では、JR幌別駅から富士橋を経て、モンスターかわむら付近までの約440mの区間を整備しています。昨年10月1日には、平成10年度から実施してきた富士橋の架け替え工事が終了し、供用を開始しました。道路改築は3月いっぱい完成する予定です。

また、JR幌別駅前広場の整備は、平成12年度から工事を進める予定です。(平成11年度の事業費は、約1億1,065万円)

片倉町地区では、セブンイレブン登別新川店から総合福祉センター「しんた21」付近までの約900mの区間を整備しています。平成11年度は、昨年度に引き続き、用地買収や移転補償などを行いました。道路改築は、平成14年3月ごろまでに完成する予定です。(平成11年度の事業費は、4億6,283万円)

○中央町地区についての問い合わせ 商工労政課(☎2171)
○片倉町地区についての問い合わせ 管理課(☎3230)

⑩観光振興特別対策事業補助金



登別地獄まつりの「閻魔大王からくり山車」

登別市の基幹産業である観光の振興を図るため、(社)登別観光協会が行っている道内外キャンペーンや東アジア観光プロモーションなどの誘客事業を支援するため、補助金を交付しています。(平成11年度の補助金は、5,000万円)

問い合わせ 観光室(☎2018)

北のあたたかいまち

⑫らいば公園の新設

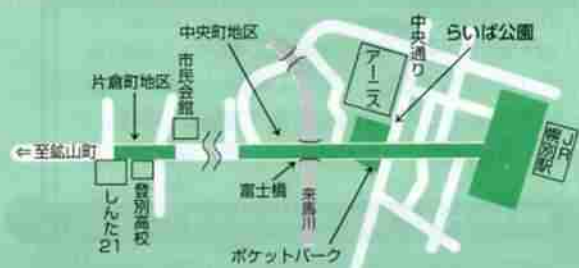


オープニングセレモニーでの除幕式

登別中央ショッピングセンター・アーニス横に、市民の憩いの場としての公園を新設し、昨年の12月1日から供用を開始しました。

公園内には、光ファイバーが七色に輝き、幻想的な世界をかもし出す「壁泉」や高さ約6mのシンボルツリー、草花などを効果的に配置し、市民が憩える空間を演出しています。(平成11年度の事業費は、約9,320万円)

問い合わせ 都市計画課(☎4115)



⑯円山通り改良事業



平成5年度から、円山通りの登別東町団地付近から石山通りまでの区間550mの改良事業に着手しました。

平成11年度は、石山通りまでの未整備区間233mの改良舗装工事を行い、完成は3月いっぱいを予定しています。

(平成11年度の事業費は、約8,720万円)

問い合わせ 都市計画課 (☎4115)

⑰市営桜木団地の建て替え



平成10年11月には、5階建て40戸・1棟が完成しました。現在、5階建て45戸・1棟の建設に着手し、完成は9月上旬を予定しています。

(平成11年度の事業費は、約7億9,839万円)

問い合わせ 建築課 (☎4399)

⑭温泉バイパス(道道倶多楽湖公園線)整備事業



温泉バイパスは、登別温泉市街地を避け、登別厚生年金病院付近からクスリサンベツ川沿いに建設される新ルートで、延長820mが事業化されています。

完成時は、幅員10mの車道部と3.5mの歩道となり、全体計画では地獄谷駐車場近くの道道に接続させる予定です。

平成11年度は、昨年度に引き続き移転補償を行い、登別グランドホテル付近の工事を行っています。

※この事業は北海道の事業です。

問い合わせ 管理課 (☎3230)

⑮ロードヒーティング整備事業



勾配が急な坂道である新生1号線の一部(新生町5丁目)のロードヒーティング工事を行い、昨年12月中旬に一部区間の工事が終了しました。

平成8年度から行われているこの事業は、緊急度の高い路線から始められ、新生1号線で5カ所目となります。完成は平成14年度を予定しています。(平成11年度の事業費は、約2,100万円)

問い合わせ 土木課 (☎3260)

⑳人と自然のふれあい拠点整備事業



◀市民研修センター

鉾山地区の豊かな自然資源を活用し、市民の潤いの場、青少年の自然環境教育の場として、生態観察学習施設の整備や宿泊体験学習施設（ネイチャーセンター）などの基本設計を行っています。（平成11年度の事業費は、約1,354万円）



問い合わせ 社会教育課(☎⑧1129)

⑱高規格救急自動車の購入



本署（登別市消防署・中央町）の老朽化した救急車に代わり、高度救命処置用資機材を装備した高規格救急車を購入し、3月上旬に本署に配備します。

問い合わせ 消防本部(☎⑧9611)

北のあたたかいまち

特集

㉑公共下水道事業



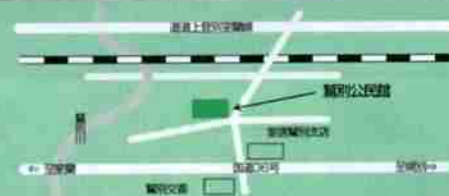
◀建設中の若草ポンプ場

平成11年度は、新生町、若草町、栄町地区など、整備区域の拡大を図りました。

また、若草町、美園町、鷺別町地区の供用開始に向け、若草ポンプ場の建設に着手したほか、若山浄化センターの処理能力を日量10,000立方以上に増量しました。平成11年度末の下水道普及率は約56.8%に達する予定です。

問い合わせ 下水道課(☎⑧9052)

⑲鷺別公民館エレベーター設置事業



「人にやさしいまちづくり事業」の一つとして、障害をもつ方や高齢者が利用しやすい公共施設にするため、市役所本庁舎と市民会館、鉄南ふれあいセンターに続き、鷺別公民館へのエレベーター設置工事などを行っています。完成は3月末を予定しています。（事業費は、約5,843万円）

問い合わせ 教育委員会総務課[教育施設担当](☎⑧1091)

市制施行30周年・西暦2000年記念事業がスタート



▲鬼のたまごの誕生を祝ったオープニングセレモニー

1月23日(日)、市民会館で市制施行30周年・西暦2000年市民実行委員会の主催による「夢の駢る街のほりべつ」オープニングセレモニーが行われました。

このセレモニーは、幌別中学校の生徒たちが司会進行を担当し、幌別・登別・緑陽の3中学校吹奏楽部による「鬼たまバンド」が合同演奏を披露するなど、次代を担う中学生が中心となって進められました。

「千年に一度生まれる」という鬼のたまご誕生場面では、会場の入り口で鬼のたまごに見立てた風船を受け取った約500人の市民が、それぞれの夢や希望を込めながら風船を割り、中から「鬼の遣伝子」を取り出しました。

最後に参加者全員で力強く三本締めを行い、登別の未来に向けた記念事業の成功を願っていました。

また、セレモニー終了後、今年一年を通して行われる「のほりべつ市民大学」が開講。第1回目は、北海道大学言語文化学部教授・高橋宣勝さんによる「民話の伝える鬼たちのメッセージ」と題した講義が行われました。日ごろ聞くことのできない伝説上の「鬼」をテーマとした講義に、訪れた市民はメモを取るなど、熱心に聞き入っていました。



▲高橋宣勝さんを講師に迎えた「のほりべつ市民大学」

鬼のたまごごうまられたよ

厳寒の夜、豪快に『湯かけ合戦』

～第29回登別温泉湯まつり～

2月3日(土)と4日(日)の2日間、登別温泉街などで、温泉の効能に感謝し、今年一年の無病息災を祈る「第29回登別温泉湯まつり」が行われました。

お祭りでは、温泉街で「湯鬼神神楽」や「厄払い豆まき」などが催されたほか、4日夜には、登別パラダイス前で「子宝もちつき舞い」に続き、呼び物の「源泉湯かけ合戦」が行われ、厳寒の中、登場した下帯姿の若者約80人が豪快に湯をかけ合うと、辺り一面は湯気につつまれ、詰め掛けた約200人の見物客からは大きな歓声が上がっていました。



▲下帯姿の若衆が豪快に湯を掛け合った「源泉湯かけ合戦」

幌別小学校チームが優勝

～第1回少年ドッジボール大会～

2月6日(日)、幌別小学校体育館で室蘭・登別・伊達の3市スポーツ交流大会(少年ドッジボール)が、11チーム・約200人の参加で行われました。



この大会は、小学4～5年生が対象で、選手は1チーム男女混合の12人。予選リーグの後、上位4チームが決勝トーナメントで激しい戦いを繰り広げ、幌別小学校チームが見事優勝しました。

優勝した同チームの木幡一成君(幌別小6年生)は「あまり練習ができず、優勝できるとは思っていなかったのですがうれしいです」と話していました。

みんなで築こうのほりべつ市政に関する懇談会

1月21日(金)、市民会館で市長をはじめとする市の幹部職員と登別市連合町内会との「市政に関する懇談会」が開催されました。この催しは、市民と行政が一体となってまちづくりを進めるため開催しているもので、この日は各町内会の役員など約100人が出席しました。



懇談会では、市の財政状況や行政改革の推進について説明があり、出席者から質問などが出されました。

また、介護保険制度など6項目について情報が提供され、活発な意見交換が行われました。

広報写真の部で初の特選

広報紙の部は2年連続の入選 ～第46回北海道広報コンクール～



▲開湯100年を迎えたカルルス温泉を特集した10月1日号

(社)北海道広報協会、北海道などが主催する「第46回(平成11年度)北海道広報コンクール」で、「広報のほりべつ」が広報紙の部(都市の部)と広報写真の部(一枚写真)の2部門で入賞しました。

中でも、全道の市町村から78点の作品が寄せられた広報写真の部では、昨年の成人祭の様子を取めた「大きな夢と希望を胸に」が登別市初の特選に輝き、北海道代表として「全国広報コンクール」に出品されます。

特選となったこの写真は、「広報のほりべつ・平成11年2月1日号」の表紙に掲載したもので、昨年、登別マリナーパークニクスを会場に行われた成人祭で若者たちが見せた豊かな表情をとらえています。

また、広報紙の部では、昨年、開湯100年を迎えたカルルス温泉を特集した10月1日号が入選。レイアウトをはじめ、地域の歴史を広く紹介した内容が評価され、2年連続の入選となりました。

市は、今後も市民のみなさんと共にまちづくりに

ヨハンセンさん『鬼大使』に

～半年間の研修を終えデンマークに帰国～

自治省などが行う自治体職員協力交流事業の「協力交流研修員」として、昨年7月から登別市役所で研修していた、デンマークのウイスリング市職員フィン・ヨハンセンさんが昨年の12月15日に帰国しました。

約半年にわたって人事を中心とした組織管理について熱心に研修したヨハンセンさんは、「日本の行政システムや文化を直接学ぶことができ有意義な時間でした。研修の成果と登別滞在中に交流したみなさんとのきずなはこれからも大切にします」と決意を語り帰国の途につきました。

ヨハンセンさんは、帰国に先立つ12月10日、市から39人目、デンマーク人では2人目の登別ふるさと大使(通称・鬼大使)に委嘱されました。【鬼大使】は首都圏などで活躍する登別出身者や登別にゆかりのある方に委嘱しているもので、ヨハンセンさんは北欧における登別のPRに一役買うことになりました。



▼フィン・ヨハンセンさん

▲上野市長から「鬼大使」を委嘱されるヨハンセンさん



取り組んでいくための情報誌として、広報紙の充実を図ってまいります。広聴広報活動や広報紙に関するご意見・ご感想をお聞かせください。

▶ご意見・ご感想は企画広報室(☎1122)

◀特選となった平成11年2月1日号の表紙「大きな夢と希望を胸に」

1月22日(土)、文化伝承館で「機織り体験」が開かれました。この日は18人の参加者が、郷土資料館のボランティアグループ「SLG」の指導のもと、草木染めの毛糸でコースター作りに挑戦。参加者は、使い慣れない機織り板の操作に苦心しながらも、縦糸と横糸の2色の毛糸を組み合わせ、市松模様のコースターを完成させました。



毛糸の自然な風合
いが魅力です
「機織り体験」コースター作り

元気

宅配便



今月のアドバイザー
たけうちよしこ
竹内芳子 保健婦

社会全体が複雑になり、精神的なストレスが蓄積しやすい状況となっていますが、ストレスが原因で病気になるケースが増えています。

「たかがストレス」と軽く考えず、自分の心の健康に気を付けることが大切です。

●心が疲れると

私たちが悲しみや怒り、恐れなどを覚えたとき、胸がつかまったり、体が震えたり、心臓がどきどきしたりします。

心に強いプレッシャーが加わると、体に何らかの反応を起しますが、これらはすべてホルモンや自律神経の働きによるものです。

このような反応は、だれにでもいつでも起きていますが、人間には自然に備わった復元力があり、大抵は一時的な現象として終わるので、何ら心配はありません。

ところが、心へのプレッシャーが長く続くと、いわゆる

ストレス社会に向けた「こころの健康」



適度な運動は、心の健康に最適です

「ストレスがたまると」状態となり、心が疲れてしまいます。こうした状態になると復元力も弱まって、ホルモンや自律神経の機能が狂い始め、心身に不調を感じるようになります。さらに、心の疲れが進むと、ノイローゼや心身症、うつ病などの病気になることがあります。

●心の休養のために

ストレスの効果的な解消法としては、旅行、スポーツ、入浴、友人との気軽な話し合いなどが挙げられます。

特に適度な運動は、さわやかな疲労感をもたらし、心地よい眠りを誘うなど、心の疲れを解消するにはとても効果的です。

このほか、森林浴など自然の中に身を置いてストレスを解消する方法もありますが、自分なりの休養のとり方をつくりだすことが、心身の健康づくりのポイントです。

人が輝き まちがとぎめく

仲間たち Group

登別市ボランティアの会



洋裁や和裁の腕を生かして布の絵本や動物の縫いぐるみづくり。

「子どもたちのうれしそうなお笑顔を困っている人たちの喜ぶ姿を見るのを楽しみにしながら活動をしています」と話すのは、登別市ボランティアの会会長の池田美恵さん。昭和52年8月、社会福祉協議会主催のボランティアスクールを受講したことがきっかけで会を結成し、活動を始めてから23年目を迎えた現在の会員数は35人。

「しんた21」を活動の拠点として毎週金曜日に例会を開催し、洋裁や和裁の腕を生かして布の絵本や動物の縫いぐるみ、おもちゃなどの製作に励んでいます。出来上がった作品は、市内の小学校や幼稚園へ貸し出ししているほか、ぞのぞみ園や図書館などへ寄贈しています。

「今年には新たに、布で作った魚釣りセットを市内6カ所の保育所へプレゼントしました。子どもたちはとても喜んでくれました」と池田さん。



▲真心を込めて「布の絵本」を作る会員

毎年9月下旬には、会員や一般家庭から不要な食器や日用品、衣類などを集めて即売する「友愛セール」を行って、活動資金の確保に努められたら、リサイクルの推進に向けた活動を行っています。

また、養護老人ホーム「恵寿園」のお年寄りや布の絵本を活用しながら交流会を開催しているほか、視力障害者協会の宿泊研修時のガイドヘルプ活動も行っています。

これらの活動が認められ、平成7年には北海道新聞社から「ボランティア奨励賞」を受賞しました。

「これからも子どもたちに夢を与えられるような活動や、困っている人に喜ばれる活動を続けていきたいです。若い方の会員が少ないので、ぜひ参加してほしいですね」と話す池田さん。

入会希望の方は池田さん(☎0172-98)までどうぞ。

楽しかったこと、悲しかったこと、市への疑問や意見・要望などを企画広報室へ電話やはがき、封書、ファクス、電子メールでお寄せください。なお、個人や団体への中傷、営利を目的としたお話はご遠慮ください。

企画広報室

☎85 1122
FAX 85 1108
EX-ル: n-koho@earthcape.ne.jp

中央町6-11

天華園を花いっぱいのお花畑に

私の家族はマリンパークをはじめ登別のテーマパークのファンで年に一度は訪れています。昨年、天華園が閉園し残念に思っています。

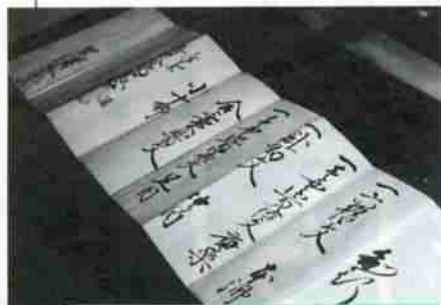
そこで一つの提案です。天華園の建物の周りをたくさんのお花で囲んでみてはいかがでしょうか。

登別には「フラワーパレットのほりべつ」という花をテーマにした素晴らしいイベントが続いているまちおこし団体があり、また市内にはお花畑作りの好きな方がいらっしやるのではないのでしょうか。そういう方たちがボランティアグループをつかってお花畑作りをする。花の種類やレイアウト、配色などをみんなで相談する。考えただけでも楽しくなっています。

また、いろいろな動物がいるサンチャイルド方向への道は「動物ロード」、カルルス方面は「ゆけむりロード」など、天華園付近の道路に名前を付けてしまいます。観光客から道を尋ねられても説明しやすいと思います。

閉園した天華園を登別市だけで背

ふるさとの文化遺産
登別市指定文化財
黒澤家史料



「黒澤家史料」は、明治3年に宮城県白石市から登別に移住した仙台藩白石城主片倉家の家臣黒澤家に代々伝わる古文書で、登別の開拓の祖である片倉家の歴史や江戸時代の武家社会を知るうえで貴重な史料です。

伊達政宗の重臣・片倉小十郎景綱の活躍を記録した『黒澤家本景綱記』や、武士の辞令や身分証明書にあたる「知行目録」など33点からなる武家文書です。

この史料は、平成10年に登別市指定文化財に指定され、郷土資料館に展示しています。

▶問い合わせ 郷土資料館 (☎1339)

雪が出さないで
除雪車が除雪した車道に

雪がたくさん降ると市の除雪車が除雪をしていきます。そのあとには、玄関前などの除雪をしなければなりません。轍も無くなり車道がすっきりします。

ところが、せっかく除雪した車道に自分の家の雪を出す人を見かけます。通行しにくくなるので絶対にやめてほしいと思います。

(富士町 男性 52歳)



あすなる
たはらたかし
田原貴史さん(28歳)

(有)オール・アンド・イー勤務
廃棄物をリサイクルして、人や車にやさしい融雪剤を作りたい

田原さんは、産業廃棄物の処理と再利用の研究をしている富浦町の(有)オール・アンド・イーに勤務。「現在、微生物に焼却灰や廃糖液などの産業廃棄物を混合し、製品化を目指して実験中です。相手が微生物なので光や温度管理などに神経を使います。この実験が成功すると、土の中で分解して自然に帰るプラスチック『生分解性プラスチック』をはじめ土壌改良剤、そして塩害のない融雪剤を作ることができます。これが将来ひとつの産業として成り立つとうれいそうですね」と環境保全やリサイクルに情熱を傾けています。

休日は、もっぱら3歳と1歳になる娘さんにせがまれて、家族一緒に遊びに出かける良きパパです。



ごみや介護保険など身近な問題を学び、会員の教養と生活向上を図る

市内の婦人会や町内会婦人部の連携と親ほくを深めるため、昭和35年に設立された幌別町婦人団体連絡協議会を前身とする登婦連。

現在の会員数は約1千200人。市内4町内会の婦人部と、町内会婦人部の有志でつくる3つの婦人会の計7団体で構成され、さまざまな事業を行っています。

女性の運動不足の解消と会員同士の交流を図る「かあちゃんオリンピック」の開催をはじめ、各家庭自慢の漬物の味を競うつけものコンクールが呼び物の「つけものフェスティバル」への参加協力のほか、会員の教養と生活向上を図るための研修会など、地域や家庭を主眼に置いた事業を幅広く展開。

「最近の研修会では、ごみの減量化や介護保険など身近な問題を取り上げ、各分野から専門の講師を招いて学んでいます。4月から始まるごみ有料化は、地域全体でごみの減量や資源のリサイクルについて考える良い機会だと思えます」。

自分の住む町を愛し、温かな地域づくりを

核家族化や生活スタイルの変化に伴い、高齢者の介護や地域での子育てが課題となっている現代社



▲「登別婦連協の歌」を合唱し、今後のさらなる発展を誓った「登婦連結成40周年記念大会」

会。人と人とのつながりを緊密にし、地域の活力を生む町内会や婦人会の活動がますます重要になってきています。

「高齢社会を迎えるこれからは、自分がいつ他人のお世話になるかわかりません。お互いが助け合い、結びつきを深めながら生きていくことが本当に大切になってきています。近所のお年寄りに「お元氣ですか」と一声かけてあげることでもいいんです。人と人、家庭と家庭がかかわりをもっていくことで、温かな地域をつくっていくのではないのでしょうか。こんな時代だからこそ、一人ひとりが自分の町について真剣に考え、大切にしてほしいと思います」。

藤原さんの、地域と人を愛する熱い思いは、住みよいまちづくりへの願いでもあります。



きらり

KIRARI

ふじ わら みつぎ
藤原 鑑さん(片倉町)

登別市内の町内会婦人部などの会員で構成され、地域のさまざまな活動に取り組んでいる登別市婦人団体連絡協議会（登婦連）。

結成40周年の節目の年を迎えた今年、2月10日には「登婦連結成40周年記念大会」が盛大に行われました。

昨年4月から登婦連会長として活躍する藤原さんに話を聞きました。

地域と家庭、人と人とのつながりを大切にしたい

昭和13年1月、樺太生まれ。62歳。

片倉町内会の婦人部長やクリーンリーダーを務めるなど、町内会活動に積極的に参加。4人の子育てを終え、現在は夫と娘の3人暮らし。



介護保険料が決まります

この介護保険料は、3月に開催される第1回登別市議会定例会での議決を経て決定されることとなります。

第1号被保険者(65歳以上)の所得段階別保険料

段階	第1号被保険者	保険料月額
第1段階	・生活保護受給者 ・高齢福祉年金受給者で世帯全員が市民税非課税	基準額×0.5=1,483円
第2段階	・世帯全員が市民税非課税	基準額×0.75=2,224円
第3段階	・本人が市民税非課税(世帯の中に市民税課税の人がいる)	基準額=2,965円
第4段階	・本人が市民税課税で、前年の合計所得金額が250万円未満	基準額×1.25=3,707円
第5段階	・本人が市民税課税で、前年の合計所得金額が250万円以上	基準額×1.50=4,448円

②平成12年10月からの1年間は保険料を半額にすることとしています。

平成12～14年度の保険料状況

区分	平成12年度		平成13年度		平成14年度	
	月保険料	年保険料	月保険料		年保険料	年保険料
	10～3月		4～9月	10～3月		
第1段階	742円	4,400円	742円	1,483円	13,300円	17,700円
第2段階	1,112円	6,600円	1,112円	2,224円	20,000円	26,600円
第3段階	1,483円	8,800円	1,483円	2,965円	26,600円	35,500円
第4段階	1,854円	11,100円	1,854円	3,707円	33,300円	44,400円
第5段階	2,224円	13,300円	2,224円	4,448円	40,000円	53,300円

問い合わせ 介護保険推進室

(☎5720)

奨学生を募集します

財登別育英会は、高校、高専、専

門学校、短大、大学に4月から入学する方を対象に、平成12年度の奨学生を募集します。

▼奨学金(月額)

◎高校生：1万円

◎高専・専門学校・短大生：1万5千円

◎大学生：2万円

▼申し込み・問い合わせ 3月31日(金)までに財登別育英会事務局(教育委員会総務課内 ☎1100)

みどりの講習会

「生け垣づくり実技教室」

生け垣づくりの基礎や維持管理方法などを学んでみませんか。市が発行している「みどりづくりマニユアル」を参考に、実技を交えながら指導します。参加は無料です。

▼日時 3月20日(月) 14時～16時

▼場所 市民会館視聴覚室

▼講師 小笠原春一さん(造園技能士)

▼定員 20人(申込順)

▼申し込み・問い合わせ 3月6日(月)から都市計画課(☎4115)

市制施行30周年・西暦2000年記念

第25回

登子連いのぼりマラソン大会

登別市子ども会育成連絡協議会は、こどもの日を記念して、子どもから大人まで気軽に参加できるマラソン大会を開きます。

▼日時 5月5日(金)(小雨決行)受け付け10時～10時30分、開会式10

時30分(開会式終了後スタート)

▼集合場所 市営陸上競技場

▼コース 3⁺、5⁺、7⁺

▼参加料 中学生以下500円、高校生以上1千円

▼申込方法 各支所、市民会館、総合体育館に備え付けの申込用紙に必要事項を記入の上、3月31日(金)までに郵便振替でお申し込みください

▼問い合わせ 社会教育課

(☎1129)

郷土資料館体験学習

「凧をつくって揚げよう」

カラビニールでダイヤだこを作り、大空に掲げてみませんか。

▼日時 3月11日(出) 10時～12時

▼場所 文化伝承館(郷土資料館横)

▼定員 30人(申込順)

▼参加料 大人100円、小中学生無料

▼申し込み・問い合わせ 3月7日(火)から10日(金)までに郷土資料館

(☎1339)

文化講演会を開催します

登別市文化協会、文化・スポー ツ振興財団

▼日時 3月11日(出) 18時30分

▼場所 市民会館中ホール

▼演題 「弁護士から見た最近の世相」

▼講師 芝垣美男さん(弁護士)

▼入場料 無料

▼問い合わせ 諏訪さん (☎3630)

かると

平和への願いを標語に託して

入選作品

平和とは 人類みんなの 願いごと

鷺別中学校 2年 佐藤圭祐

地域スポーツ教室を開きます

文化・スポーツ振興財団

▼日時・場所 3月12日(日) 9時30分～15時30分・総合体育館

▼対象 市内に居住する小学生

▼内容 体力テスト(立ち幅跳び、上体起こし、腕立て伏せ、時間往復走、5分間走)、軽スポーツゲーム(ミニバレー、キンボールなど)

▼受講料 100円(傷害保険料。当日持参)

※会場で豚汁を用意しますので、おにぎりなどを持参してください。

▼申込方法 3月10日(金)までに電話で総合体育館へお申し込みください(スポーツ少年団加入者は申し込み不要)

▼申し込み・問い合わせ 総合体育館 (☎5552)

パソコン教室

受講者を募集します

鷺別地方高等職業訓練校

▼日時 3月27日(月)から4月14日(金)までの毎週月・金曜日(全15回) 18時～21時

▼場所 鷺別地方高等職業訓練校

▼内容 ワードの文書作成、エクセルの表計算など

▼募集人数 15人(申込順)

▼受講料 1万5千円

▼申込方法 受講料を持参の上、3月6日(月)から鷺別地方高等職業訓練校(青葉町42)に直接お申し込みください

校(青葉町42)に直接お申し込みください

園芸講習会を開催します

伊達市農業協同組合登別支所

▼日時 3月10日(金) 13時30分～15時30分

▼場所 伊達市農業協同組合登別支所2階会議室(中央町1丁目4)

▼内容 野菜の栽培方法の基本など

講師 佐長頼夫さん(JA伊達市農業振興課講師)

▼定員 30人(申込順)

▼参加料 無料

▼申し込み・問い合わせ 3月6日(月)から伊達市農業協同組合登別支所グリーンショップ (☎3153)

登婦連バザーを開催します

登別市婦人団体連絡協議会

▼日時 3月6日(月) 12時30分～14時

▼場所 市民会館エントランスホール

▼内容 日用雑貨、衣類、手作り小物、食器などの販売

※なお、当日11時30分から13時まで、そばとうどんを各250円で販売します。

▼問い合わせ 藤原さん

(☎8650)

(財)登別市文化・スポーツ振興財団 職員を募集します

▶雇用期間

○鷺別公民館・総合体育館業務補助員、市民プール業務員…平成12年4月1日～平成13年3月31日

○市民プール業務補助員…平成12年4月1日～平成12年12月18日

※いずれも次年度以後は勤務成績により再雇用の場合があります。

▶試験方法 面接試験(日時・場所など詳しくは後日ご連絡します)

▶申込方法 (財)登別市文化・スポーツ振興財団(市民会館2階)に備え付けの申請書に必要事項を記入(写真張り付け)の上、3月10日(金)まで(土・日曜日を除く)にお申し込みください

※なお、総合体育館業務補助員および市民プール業務員については、室蘭公共職業安定所の紹介状を添えてお申し込みください。

▶申し込み・問い合わせ (財)登別市文化・スポーツ振興財団 (☎1116)

勤務先	職種	募集人数	応募要件	業務内容	勤務条件	賃金
鷺別公民館 (鷺別町3丁目)	業務補助員	1人	昭和20年4月2日から昭和45年4月1日までに生まれた方	事務・管理業務	8:45～15:45(1日7時間勤務) ※週3～4日勤務	時給730円
総合体育館 (若山町2丁目)	業務補助員	2人	昭和13年4月2日から昭和20年4月1日までに生まれた方	事務・管理業務	交代勤務制(1日7時間勤務) ※週6日勤務	時給730円
市民プール (千歳町3丁目)	業務員	1人	昭和13年4月2日から昭和20年4月1日までに生まれた方で、2級ボイラー技士および危険物取扱者乙種第4類の資格を有する方	ボイラー管理業務	交代勤務制(1日7時間勤務) ※週6日勤務	月給130,600円
	業務補助員	1人	昭和20年4月2日から昭和45年4月1日までに生まれた方	事務・管理業務	13:00～20:00(1日7時間勤務) ※週3～4日勤務	時給730円
	業務補助員	3人	昭和20年4月2日から昭和45年4月1日までに生まれた方で、25%以上泳げる方	監視業務	交代勤務制(1日7時間勤務) ※週3～4日勤務 ※7～9月は市営プール(若山町2丁目)勤務もあり	時給800円



荒木美保さん

市制施行30周年・西暦2000年市民
実行委員会ふれあい部会副会長

心と心の『ふれあい』を感じてみませんか

2000年市民実行委員会では、9月2日と3日の2日間、川上公園を会場に『ハートもはあとinのぼりべつ』というイベントを開催します。

テーマは「ふれあい」。川上公園に足を運んだすべての人が、気付かないうちに会場の雰囲気や溶け込み、イベントと一体になっていく。みなさんが今までに感じたことのない、新しいタイプのイベントにしたいと考えています。

西暦2000年にちなんだ2000人大合唱や、みんなで一つのものをつくり上げるコラボレーション（協同創作）など、市民のみなさんの心と心が触れ合うことのできる催しを現在計画中です。

実行委員会では、暮らしの中にある「21世紀に残したい、あの味、その技、この芸能」と題して、食、遊び、文化に関するアイデアや情報を市民のみなさんから募集したいと考えています。

このイベントは9月開催なので、まだ先の話になりますが、その日が来るのを楽しみに待っていてください。

問い合わせ／市制施行30周年・西暦2000年市民実行委員会事務局(登別商工会議所内 ☎ 4111)

平成12年4月1日 ごみ有料化実施

資源ごみの分け方と出し方

覚え
ましたか?

資源ごみの収集は無料です

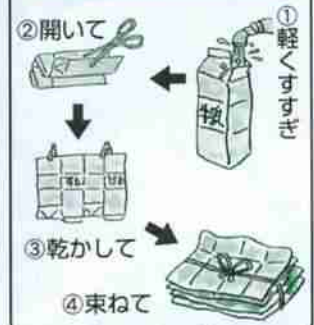
2月1日から新しいごみの分別方法によるごみの収集が始まりました。資源ごみ(缶・びん・ペットボトル・紙パック)の分け方・出し方をもう一度見直してみましょう。

缶・びん、ペットボトルの出し方



透明または半透明の袋で
資源ごみの収集日にごみステーションへ

紙パックの出し方



公共施設や店舗などの
回収ボックスへ

- びんとペットボトルはキャップをはずし、中をすすいでください。
※プラスチックのキャップは燃やせるごみ。金属のキャップまたは金属とプラスチックなどの混合のキャップは燃やせないごみ。
- 資源ごみの収集日については、『広報のぼりべつ1月1・15日号』に折り込み配布した『家庭ごみ収集カレンダー』をご覧ください。

4月
から

粗大ごみの収集が始まります

1品ごとに1枚160円のごみ処理券を張って出してください

『広報のぼりべつ1月1・15日号』に折り込み配布した『家庭ごみ収集カレンダー』でお知らせしたとおり、粗大ごみの収集が4月から始まります。

粗大ごみの収集は、地域ごとに決められた年2回の収集時期に、電話の申し込みにより行います。

▶申込方法 収集日初日の2週間前から収集日初日まで(土・日曜日、祝日を除く)の8時30分～17時に電話でお申し込みください。

▶申し込み・問い合わせ 環境資源課(☎2958)

※このほかの地区の収集日については、『家庭ごみ収集カレンダー』に掲載しています。また、今後の『広報のぼりべつ』でも紹介していきます。

※『家庭ごみ収集カレンダー』『ごみの分け方と出し方』『登別市指定ごみ袋等取扱店一覧』『ゴミのクリンクル帳』は、市民課(市役所1階1番窓口)と各支所、若草分室で配布していますので、各窓口でお申し出ください。

4月の粗大ごみの収集日・地区

地区名	収集日	申込期間 (土・日曜日、 祝日を除く)
富浦町1～5丁目・幸町・登別本町・登別港町	4月3日(例) ～4月8日(出)	3月21日(例) ～4月3日(例)
青葉町・緑町・鉢山町・川上町	4月10日(例) ～4月15日(出)	3月27日(例) ～4月10日(例)
カルルス町・上登別町・登別温泉町・中登別町	4月17日(例) ～4月22日(出)	4月3日(例) ～4月17日(例)
美園町4～6丁目	4月24日(例) ～4月29日(出)	4月10日(例) ～4月24日(例)

新しいごみの分別に関する問い合わせ

環境資源課(☎2958・☎2005・☎0575)

3月11日ダイヤ改正



鷺別駅に特急すずらんが停車します

室蘭・札幌間を往復する『特急すずらん』(1日5往復)が、3月11日(出)からJR鷺別駅に停車することになりました。

なお、JR鷺別駅では、特急利用者専用の駐車場「パークアンドトレイン」を4台分確保します。

改正後のダイヤや駐車場の利用方法など、詳しくはお問い合わせください。

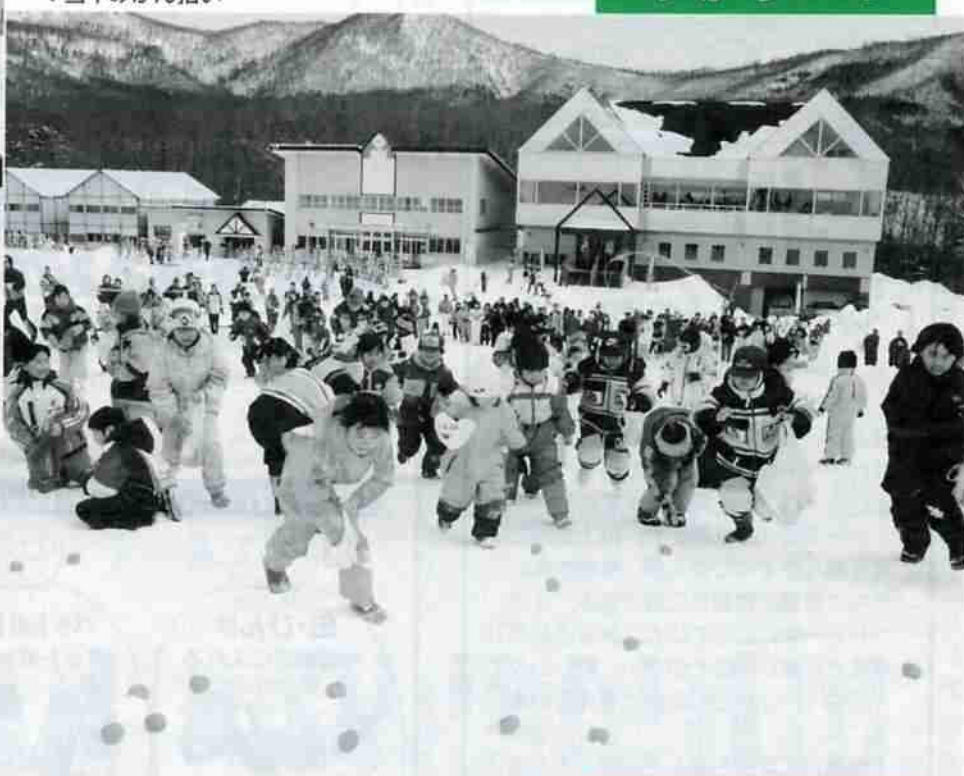
問い合わせ

JR鷺別駅(☎7405)



▲親子ボブスレー大会

▼雪中みかん拾い



好き
このまちが
カルルスの冬祭り
よひこそ
まちの風景
3月

市制施行30周年と西暦2000年を契機に、より一層市民のみなさんに親しまれる祭りとするため、「カルルス温泉スキーまつり」が「カルルス温泉冬まつり」に名称を変えてリニューアル。冬ならではの楽しい催しが盛りだくさんのお祭りに、ご家族おそろいでお越しください。

市制施行30周年・西暦2000年記念
カルルス温泉冬まつり

▼日時 3月5日(日) 9時～14時

▼場所 国設カルルス温泉サンライバスキー場

▼内容 無料スキー・スノーボード講習会、歩くスキーの集い、雪中みかん拾い、親子ボブスレー大会、チューブレース大会など

※催しによっては先着順で締め切るものがありますので、詳しくはお問い合わせください。また、都合により、時間や内容を変更することがありますので、ご了承ください。

▼問い合わせ 登別観光協会

(☎01433311)

となりまちホットライン

白老町

一緒に泳ぎましょう
泳げなくても大丈夫!

白老町民温水プールには、25m×7コースの一般用と水深の浅い児童用、幼児用のプール、高温と低温のサウナがあります。また、初心者の方でも指導員が無料で泳ぎ方を教えてくれます。

▶時間 火～土曜日 10時～20時30分
(11月～3月は13時から)
日曜日・祝日 10時～17時

▶入場料 大人400円、高校生260円、小中学生・高齢者120円、幼児60円

▶休館日 月曜日、祝日の翌日

▶問い合わせ 白老町民温水プール
(☎01445813)

室蘭市

コンサドーレ札幌、室蘭で3試合
今年こそ、目指せJ1!

▶場所 室蘭市入江陸上競技場
【J2リーグ】
3月30日(日)14時 対アルビレックス新潟
4月9日(日)13時 対浦和レッズ
【ナビスコカップ】
4月12日(日)13時 対ガンバ大阪

▶チケット取扱先 登別市民会館・丸井今井各店・ローソン各店

▶チケット料金 S指定席3,000円、A自由席大人2,200円・小中学生1,000円、B自由席大人1,600円・小中学生500円

▶問い合わせ 室蘭市体育館
(☎7521)

伊達市

春一番伊達ハーフマラソンに
ふるってご参加ください

春一番伊達ハーフマラソン大会が開催されます。早春の伊達路をみなさんも走ってみませんか。

▶日時 4月9日(日) 受け付け9時30分、スタート11時(ハーフのみ。その他は11時10分)

▶集合場所 だて歴史の杜カルチャーセンター

▶種目 3^{km}、5^{km}、10^{km}、ハーフ

▶参加料 小・中学生1,000円、ハーフ3,000円、その他2,000円

▶問い合わせ 伊達市教育委員会体育振興課 (☎01423331)